

## 瀬戸塾日々の論語

一、子曰く、

志士仁人は、生を求めて以て 仁を害する事無し。  
身を殺して以て 仁を成す事有り。(1日)

二、子曰く、

学びて時に之を習う、亦た説ばしからず乎(2日)  
朋有り遠方より来たる、亦た樂しからず乎(3日)  
人知らずして慍みず、亦た君子ならず乎(4日)

三、子曰く、巧言令色、鮮なし仁(5日)

四、子曰く、

徳ある者は必ず言あり。言ある者は必ずしも徳あらず。(6日)

仁者は必ず勇あり。勇者は必ずしも仁あらず。(7日)

五、子曰く、

惟だ仁者のみ、能く人を好み、能く人を悪む。(8日)

六、子曰く、義を見て為ざるは、勇なきなり。(9日)

七、子曰く、

故きを温めて新しきを知る、以て師と為るべし。(10日)

八、子曰く、君子、重からざれば則ち威あらず。

学べば則ち固ならず。

忠信を主とし、己に如かざる者を友とすること無かれ。(11日)  
過てば則ち改むるに憚ること勿かれ。(12日)

九、子曰く、

君子は世を没するまで 名の称せざることを疾む。(13日)

十、子曰く、

君子は諸れを己に求め、小人は諸れを人に求む。(14日)

十一、子曰く、古者言をこれ出ださざるは

躬の逮ばざるを恥じてなり(15日)

十二、子貢問うて曰わく、

一言にして以って身を終るまで之を行ふ可き者有り乎。

子曰く、其れ恕か。

己の欲せざる所を人に施すこと勿かれ。(16日)

十三、子は温かにして而も厲し。威あつて而も猛からず。

恭しくして而も安し。(17日)

十四、子曰く、学んで思わざれば 則ち罔し

思つて学ばざれば 則ち殆し (18日)

十五、子曰く、人にして信なくんば、

其の可なるを知らざるなり。(19日)

大車 輓なく、小車 輓なくんば、

其れ何を以てか これを行らんや。

十六、子曰く、其の以てする所を視、其の由る所を觀、

其の安んずる所を察すれば、人 焉んぞ瘦さんや。

人 焉んぞ瘦さんや。(20日)

十七、子曰く、徳は孤ならず。必らず隣あり。(21日)

十八、子曰く、

君子は和して同せず、小人は同じて和せず。(22日)

十九、子曰く、利に放りて行えば 怨み多し。(23日)

二十、子曰く、

益者三友、損者三友、直きを友とし、諒を友とし、

多聞を友とするは、益なり。便辟を友とし、善柔を友と

し、便佞を友とするは、損なり。(24日)

二一、子夏曰わく、小人の過まちや、必ず文る。(25日)

二二、子曰く、

四十五十にして聞こゆること無くんば、

斯れ亦た畏るるに足らざるのみ。(26日)

二三、子曰く、

質、文に勝てば則ち野、文、質に勝てば則ち史、

文質彬彬として、然る後君子なり。(27日)

二四、子曰く、異端を攻むるは、斯れ害あるのみ。(28日)

二五、由や、汝、六言の六蔽を聞ける乎。

対えて曰わく、未だし。居れ、吾れ汝に語げん。

仁を好めども学を好まざれば、其の蔽や愚。

知を好めども学を好まざれば、其の蔽や蕩。(29日)

信を好めども学を好まざれば、其の蔽や賊。

直を好めども学を好まざれば、其の蔽や絞。(30日)

勇を好めども学を好まざれば、其の蔽や乱。

剛を好めども学を好まざれば、其の蔽や狂。(31日)